

## 二子山山行報告

【山行日】 2015年 4月 19(日) 晴れのち曇り

【集 合】 岩舟支所P AM 5:00

【費 用】 マイカー1台 : 2,800円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、梶内、島田、  
関、津佐、福田々、藤原、中田、松館、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=坂本登山口  
P7:15/7:30~股峠 8:30~東岳 9:10/9:25~股峠  
10:00 西岳 11:00~魚尾道峠分岐 12:00/12:30  
~坂本登山口 P13:10=岩舟支所 P15:30

※ 股峠から西岳への登りは、A 班が直登  
の上級者コース、B 班は巻道経由の一  
般コース。



スリルと高度感あふれる岩稜歩きを楽しめる、二子山にチャレンジした。

坂本登山口脇の、広い路側帯に車を止め準備する。トイレは登山口のすぐ下に、綺麗なバイオトイレ



が設置されており、とてもありがたい。

トイレとストレッチを済ませ出発する。

登山口から少し斜面を登り、やがて仁平沢沿いに薄暗いスギの中を登るようになる。

岩がゴロゴロとした滑りやすい沢沿いの道を詰めて行き、やがて尾根へ急坂を登るようになる。

急斜面を九十九折れに登って行き、斜面が緩くなり笹の生えた雑木林を歩くようになると股峠に着く。股峠は十字路になっており、東岳へは右に進み雑木林の急登を登ると岩場の登りとなり、

難所のトラバースの鎖場を慎重に通過する。さらに岩場を登ると、岩のヤセ尾根を登るようになる。

ゴジラの背中のような岩場を通り、急な岩場を登り上がると東岳山頂に着く。その先の展望ピークに行こうと誘うが、2人しか付いてこなかった。山頂でコーヒータイムをとり、菓子とリンゴをいただく。

股峠まで来た道をもどり、西岳へ向かう。樹林帯の急坂を登るとすぐに、道が分かれ直進すると直登の上級者コース、右にトラバースすると一般コースに分かれる。

A班: 上級者コース6名と、B班: 一般コース5名に分かれ西岳山頂を目指す。





高度を楽しみながら登ると、山頂の一角の岩稜に出る。ここから天空の岩稜歩きとなり、眺望を楽しみながら岩の間を進むと一般コースと合流する。少し先が西岳山頂となり、B班はすでに到着し我々を出迎えてくれる。山頂は狭く、南面はスパッと切れ落ちているので行動は慎重にする。記念写真を撮り山頂を後にし、岩稜をさらに西北に進んでゆく。ゴジラの背のような岩稜をスリルと眺望を楽しみながら慎重に進む。岩場が初めてのF原さんや、岩場が苦手なWさんは怖そうに歩いているが、慣れると上手に岩場をこなして行く。最後の難所、岩稜の西端にある7mの鎖場を降りれば岩稜歩きが終了する。岩壁の下部をトラバースし、股峠への巻道を左に分け尾根を直進すると魚尾道峠に出る。二子山を見上げる場所まで降りて、ランチタイムをとる。狭い場所だが、今登った岩峰を見上げながら食べるうどんとおにぎりは格別に美味しく感じた。尾根通しにまっすぐ下り、途中分岐を左に進むが、分岐に鹿避けネットがあり先発隊は直進してしまった。あわてて呼び戻し、事なきを得たがネットで分岐が分かりにくい。雑木林の道をしばらく降りると、送電塔をくぐり傾斜が緩くなると、間もなく国道299号線に飛び出す。国道を左にたどると、間もなく駐車スペースに戻る。



をして無事に岩舟支所へ帰着した。

上級者コースは、すぐに岩場の直登となり、垂直に近い岩を鎖もロープも無く登るようになる。

ホールドとスタンスはしっかりとあるので、落ち着いて三点支持で登れば特に危険は無い。

ただ高度感はかなりあるので、高所恐怖症の人には厳しいかもしれない。少し登ると、クライミングロープで確保して登るグループがいて、しばらく待たされる。5人がロープで確保しながら登るので結構時間が掛かる。

普段登ったことが無い岩稜の山を登りきり、皆さん達成感と充実感に溢れた笑顔で握手を交わした。途中道の駅「はなぞの」に寄ったが、駐車場が満車で止められず寄らずに帰路につき、佐野市のアグリタウンで買い物